

画像データ配信のファーストステップ

DcmToJpg

DICOMtoJPEG変換ソフトウェア

DICOM to JPEG

特徴 DICOMデータから被検者情報を除きJPEG/Bitmap保存

受信したDICOMデータを自動でJPEG/Bitmapに変換し、指定されたフォルダ（ネットワーク接続されたPCのフォルダも指定可能です）へ保存するソフトウェアです。対応可能なDICOMデータは以下の形式になります。

- ・ 光度測定解釈 (Photometric Interpretation[0028 : 0004])がMONOCHROME1、MONOCHROME2、RGBの3タイプ。
- ・ 圧縮画像の変換にも新たに対応（別途オプションが必要です）
対応可能な圧縮形式は、弊社サポートにお問い合わせください。

機能

画像データの自動変換

- ・ 受信したDICOMデータを自動でJPEG/Bitmapに変換（変換なしを設定するとDICOMデータで保存）

変換画像保存フォルダ指定

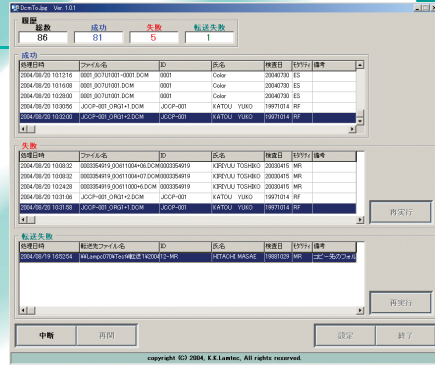
- ・ 変換画像を保存するフォルダは最大8箇所
- ・ フォルダ単位に変換画像タイプを設定
- ・ 保存フォルダは患者ID、検査日、患者名、モダリティ、処理日付のサブフォルダを作成し保存することも可能

モダリティ単位の処理条件設定

- ・ 変換時の階調をモダリティ単位に設定 (JPEG/Bitmap)
- ・ 縮小率の指定をモダリティ単位に設定 (JPEG/Bitmap)
- ・ 圧縮率の設定 (JPEG)

圧縮画像の受信(オプション)

- ・ 圧縮画像を受信後に解凍
※圧縮形式についてはお問い合わせください。



処理画面



処理条件設定画面

構成図

